

「戦争する国」づくり ストツツプ!

憲法違反

安全保障関連法案
憲法違反の戦争法案は廃案しかない

日本が攻撃されていなくても、
いつでもどこでも米軍支援



資料：なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2015年日本平和大会 in 富士山学習パンフ

「戦争法案は違憲だ」——圧倒的多数の憲法学者、弁護士、歴代内閣法制局長官や最高裁判事判事が明言しています。

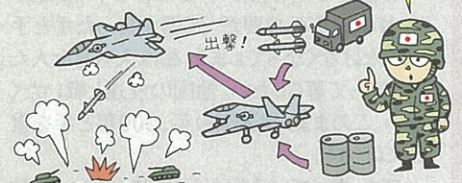
戦争法案は、日本が攻撃されてもいないのに、集团的自衛権を行使して、アメリカの戦争に参戦するための法案です。参戦の判断は時の政府にまかされます。「戦闘地域」に自衛隊が送られ、憲法が禁止して

いる「武力の行使」をすることになってしまいます。

また、「兵站」、つまり武器の輸送や弾薬の補給・給油、さらには「核兵器の輸送」までさせられます。敵から真っ先にねらわれ、戦闘に巻き込まれてしまいます。これでは「戦争する国」へまっしぐらです。

憲法違反の戦争法案は、廃案しかありません。

「戦闘地域」で危険な「兵たん」!



自衛隊のリスクは格段に増大する

PKO法「改正」で、戦乱がつづく地域の治安維持活動(3500人の死者を出したアフガンでのISAFのような活動)参加も可能にする。

「戦争する国」は、自由にモノが言えなくなる!?

自民党の勉強会で、百田尚樹氏は「沖縄の2つの新聞はつぶさないといけない」、また、大西英男衆議院議員は「マスコミを徹らしめるには広告料収入をなくせばいい」と発言。マスコミへの圧力、言論弾圧など、自由にモノが言えなくなる社会はゴメンです。



「戦争する国」は、憲法も国会も国民も無視!?

国民の多くが戦争法案に反対しているのに、衆議院で強行採決。首相補佐官から、「法的安定性は関係ない」との法治国家を否定する発言まで飛び出す始末。国民の声を聞かず民主主義をないがしろにする安倍政権の暴走を一刻も早く止めなければなりません。

「戦争する国」は国民を根こそぎ戦争に動員!?

平和であってこそ、安心して、誇りをもって働くことができます。人殺しの戦争をすすめるための仕事なんてイヤです。医療・土木・建築・輸送などの労働者が徴用され、戦場に送られる社会にはなりません。



「戦争する国」づくりは、くらしをこわす政治と一体

川内原発再稼働に国民の怒りが沸騰しています。また、消費税増税の一方で医療や年金など社会保障を大幅に削り、残業代ゼロや生涯派遣、TPP交渉、被災地切り捨てをすすめる安倍政権。一方で、軍事費は過去最高の5兆円にのぼっています。「軍事費を削って、くらし・福祉・教育に回せ」の声を安倍政権にぶつけましょう。